

Oxford Reading Tree Level 5 Stories

- ① The Magic Key [273 語]
- ② Pirate Adventure [330 語]
- ③ The Dragon Tree [294 語]
- ④ Gran [309 語]
- ⑤ Castle Adventure [306 語]
- ⑥ Village in the Snow [329 語]

1. Magic Key 「マジックキー」 (273 語)

レベル 5 の一冊目では、ファンタジーの世界につれていってくれる「マジックキー」が登場します。子どもたちをどこにつれていってくれるのでしょうか。マジックキーはどのように働くのでしょうか。

	1. The Magic Key	マジックキー
1	The box was by Chip's bed. Something was glowing inside it.	箱はチップのベッドのわきにありました。 何かが中で光っていました。
2	Chip looked at the box. "It's magic," he said.	チップは箱を見ると「魔法だ」と言いました。
3	Chip ran into Biff's room. "Biff," he called. "Look at the box."	チップはビフの部屋へと走っていきます。 「ビフ」チップが言いました。 「箱を見て」。
4	Biff and Chip looked at the box. Something was glowing inside it.	ビフとチップが箱をみました。 何かが中で光っています。
5	They opened the box. They looked inside. "It's magic," they said.	ビフとチップは箱を開けました。 中を見ました。 「魔法だ」ふたりは言いました。
6	A key was in the box. The key was glowing.	かぎが中に入っていました。 かぎは光っています。
7	"It's a magic key," said Biff.	「魔法のかぎね」ビフが言いました。

	She picked up the key and the magic began.	ビフがかぎを取り出すと、魔法が働きはじめました。
8	Biff and Chip got smaller and smaller and smaller.	ビフとチップはちっちゃく、ちっちゃく、ちっちゃくなっていきました。
9	“Oh help!” said Biff. “It’s magic,” said Chip.	「助けて！」ビフが言いました。 「魔法だ」チップが言いました。
10	Biff and Chip looked at the room. Everything looked big.	ビフとチップは部屋をながめました。 すべて大きく見えます。
11	“Look at my big slippers,” said Biff. “Everything looks big.”	「わたしの大きなスリッパを見てよ」ビフが言いました。「なにもかも大きく見えるわ」。
12	Chip picked up a pencil. “Look at this big pencil,” he said.	チップがえんぴつを持ち上げました。 「この大きいえんぴつをみてよ」チップが言いました。
13	Biff picked up a pin. “Look at this big pin,” she said.	ビフはピンを取りました。 「この大きいピンを見てよ」ビフは言いました。
14	They looked at the house. It looked like a big house.	ビフとチップは家を見ました。 大きな家のようにです。
15	The windows were glowing. “It’s magic,” said Chip.	窓が光っていました。 「魔法だ」チップが言いました。
16	Biff and Chip ran to the house. They looked in the window.	ビフとチップが家にかげよりました。 窓から見てみました。
17	Biff went to the door. She pushed and pushed, but she couldn’t get in.	ビフがドアに向かいます。 押しても押しても中に入れません。

18	They went to the window. Chip pulled and pulled, but he couldn't get in.	窓に行ってみました。 チップがひっぱってもひっぱっても中に入 れません。
19	Something was coming. Chip picked up the pin. "Oh help!" he said.	何かが近づいてきます。 チップがピンを向けます。 「あー助けて！」チップが言いました。
20	It was a little mouse. Biff and Chip looked at the mouse. The mouse ran away.	それはちっちゃなネズミでした。 ビフとチップはネズミを見ました。 ネズミは逃げていきました。
21	Something was glowing. It was the magic key. Biff picked it up.	何かが光っています。 マジックキーです。 ビフが拾い上げました。
22	Biff and Chip got bigger and bigger and bigger.	ビフとチップは大きく、大きく、大きくなって いきます。
23	"Oh no!" said Biff. "Oh help!" said Chip. "It's the magic," they said.	「あらやだ！」ビフが言いました。 「助けて！」チップが言いました。 「魔法だったね」ふたりは言いました。
24	The magic was over. "What an adventure!" said Biff and Chip.	魔法はとけました。 「なんていう冒険なんだ！」ビフとチップは 言いました。

語句の解説

p.1 by のそばに、の近くに something 何か glow (ing) 輝く inside 中・内側・内部
p.2 magic 魔法・手品 get ~になる・を得る p.7 began (begin の過去形) 始まった
p.10 everything すべて・何もかも p.17 but しかし
couldn't =(could not の省略形) することができなかった p.24 over 終わって

読むポイント

マジックキーがレベル 5 で登場すると、現実の世界と離れた世界に冒険ができるようになります。それぞれの本ではどのように魔法がかかっていくのでしょうか。変化する瞬間をとらえていきましょう。

英語ではいいかえがなされます。たとえば1ページ2文目の *Something was glowing inside it.* の *it* は1文目の *the box* の事をさします。このように、*it, he, she, they* など言いかえたものが出てきた時には、すぐにそれが何のことかを考えておくと話がよくわかります。言い換えたものはさほど離れた場所には出てきていません。すぐ前の文章から探し出すように習慣づけていきましょう。

Rhyming Words

1. CD を注意深く聞いていると、同じ音が共通で入っている異なる単語があります。これらは韻をふんでいます。韻は英語で *rhyme* (ライム) といいます。
2. Listen to the CD carefully and find the rhyming words. 「CD を注意深く聞いて韻をふんでいることばをみつけましょう」。
3. p.14 *house* と p.20 *mouse*

2. Pirate Adventure 「海賊の冒険」(330語)

表紙には海賊船に向かうボートがうつっています。子どもたちは海賊につかまってしまったのでしょうか。表紙を見てお話の展開を想像してみましょう。

	2. Pirate Adventure	海賊の冒険
1	Biff was looking at a book. The book was about pirates. “I don’t like pirates,” she said.	ビフが本を見ていました。 本は海賊についてです。 「海賊は好きじゃないわ」ビフが言いました。
2	Wilf and Wilma came to play. They went to Biff’s room.	ウィルフとウィルマが遊びにきました。 ビフの部屋に行きました。
3	They looked at the little house. “It’s a magic house,” said Biff. “Don’t be silly,” said Wilma	子どもたちは小さな家を見ました。 「マジックハウスだわ」ビフが言いました。 「おかしなこと言わないで」ウィルマが言いました。
4	They looked at the key. “It’s a magic key,” said Chip. “Don’t be silly,” said Wilf.	子どもたちは鍵を見ました。 「マジックキーだよ」チップが言いました。 「ばかなこといわないで」ウィルフが言いました。
5	The key began to glow. The magic was working. “Oh help!” said Wilma.	かぎが光りはじめました。 魔法がかかっています。 「助けて」ウィルフが言いました。
6	The magic was working. The children got smaller and smaller and smaller.	魔法がかかってきました。 子どもたちはどんどん小さく小さく小さくなっていきます。

7	“Oh no!” said Wilf. “Oh help!” said Wilma. “We don’t like this,” they said.	「わ、いやだ」ウィルフが言いました。 「助けて！」ウィルマが言いました。 「これはいやだ」二人は言いました。
8	They looked at the house. The windows were glowing. Biff went to the door.	みんなは家をのぞきます。 窓が光っています。 ビフがドアの所に行きました。
9	She put the key in the lock. She opened the door.	ビフはかぎを鍵穴に差込みます。 ビフはドアを開けました。
10	The children went inside the house. “It’s a magic house,” they said.	子どもたちは家の中にはいりました。 「魔法の家だね」子どもたちは言いました。
11	“Look at the sand,” said Biff. “Look at the sea,” said Chip. “Come on,” they said.	「砂浜を見て」ビフが言いました。 「海を見て」チップが言いました。 「さあ、行こう」子どもたちが言いました。
12	They ran to the sea. Wilf picked up a shell. Chip picked up a coconut.	子どもたちは海へかけていきました。 ウィルフは貝殻をひろいます。 チップはココナッツをひろいます。
13	Biff climbed up a tree. Wilma went in the sea. “This is magic,” they said.	ビフは木にのぼります。 ウィルマは海に行きました。 「これは魔法だね」子どもたちは言いました。
14	They played on the sand. They played in the sea. “What an adventure!” said Biff.	子どもたちは砂浜で遊んでいます。 海でも遊んでいます。 「なんていう冒険！」ビフが言いました。
15	A pirate came up. He looked at the children. “Children!” said the pirate.	海賊がやってきました。 子どもたちを見えています。 「子どもたちだ！」海賊が言いました。

16	<p>“Pirates!” said the children. “Oh help!” they said. “Come on,” said the pirates.</p>	<p>「海賊だ！」子どもたちが言いました。 「きゃー助けて！」子どもたちが言いました。 「おいで」海賊が言いました。</p>
17	<p>The pirates had a boat. They went to the pirate ship. “I don’t like pirates,” said Biff.</p>	<p>海賊はボートを持っていました。海賊は海賊船へと向かいました。 「海賊は好きじゃないわ」ビフが言いました。</p>
18	<p>“Look at that pirate,” said Biff. “Look at that big rope,” said Chip. “I’m frightened,” said Wilf.</p>	<p>「あの海賊を見て」ビフが言いました。 「あの太いロープを見て」チップが言いました。 「こわい」ウィルフが言いました。</p>
19	<p>“We wanted a party,” said the pirate. “Nobody wanted to come. Will you come to the party?”</p>	<p>「パーティーをしたかったんだ」海賊が言いました。 「だれも来たがらなかったんだ」 「パーティーに来てくれる？」</p>
20	<p>The children went to the party. It was a good party. “I like pirates,” said Biff.</p>	<p>子どもたちはパーティーに参加しました。よいパーティーでした。 「海賊は好きよ」ビフが言いました。</p>
22	<p>The key was glowing. It was time to go.</p>	<p>鍵が光っています。 もう行く時間です。</p>
23	<p>“Goodbye” said Chip. “Thank you for the party.” “Oh no!” said the pirates.</p>	<p>「さようなら」チップが言いました。 「パーティーをありがとう」 「あっ、ダメだ！」海賊が言いました。</p>
24	<p>“What an adventure!” said Wilma. “I liked the pirates,” said Biff. Wilf looked at the little hat.</p>	<p>「なんていう冒険！」ウィルマが言いました。 「海賊を気に入ったわ」ビフが言いました。 ウィルフは小さな帽子を見ました。</p>

語句の解説

- p.1 about ～について pirate (s) 海賊 p.3 Don't be silly ばかなことを言うな。
p.5 work (ing) を動かす・作動する・働いている lock かぎ(key は差し込む方のかぎ)
p.12 coconut ココナッツ p.14 on the sand 砂浜で
p.15 came up (come up の過去形) 近づく・上がる・出る
p.18 frightened おびえた・こわがった p.19 Will you～ ～ませんか

発音のポイント

海賊船に向かうボートが出てきますが、この外来語であるボートのように長音の「ー」マークは実はほとんどの場合には、英語では伸ばす発音ではありません。boat のように母音 (a,e,i,o,u) が2文字重なるときは、前の母音をアルファベット読みすることが多いのです。つまりボートというよりは、ボウトに近いわけです。ロープもそうです。こちらは rope というように e で終わる単語です。e の前にある母音をアルファベット読みし、サイレント e と呼ばれています。ロープではなく、ロウプに近い発音です。ただしすべての e のつく単語にあてはまるわけではありません。他に [ou] と発音するものが Pirate Adventure には出てきます。don't, glow, Oh, no, windows, opened, coconut, nobody, go などです。

CD を聞きながらまねしている時には、意識的に正確な発音を心がけるようにしていきましょう。

Does Biff like pirates?

ビフは海賊が好きだと言ったり、好きではないと言ったりしていますね。このお話の中の海賊を、ビフは好きなのでしょうか。それをつきとめてみましょう。

1. Find Biff's comment on pirates. 「ビフが海賊についてコメントしている発言を探してみます。」
 2. Underline the sentences. 「文章に線を引きます。」
 - p.1 "I don't like pirates," she said.
 - p.17 "I don't like pirates," said Biff.
 - p.24 "I liked the pirates," said Biff.
 3. "Why is Biff feeling like that?" 「なぜビフはそのように感じているのでしょうか。」子どもたちに理由を考えてもらいましょう。
 4. "Does Biff like Pirates?" 「ビフは海賊が好きなのでしょうか。」
 5. 自分の考えを言ってみます。ビフが好きだと思うならば、I think that Biff likes the pirates. 好きではないと思うならば、I don't think that Biff likes the pirates. のように言います。
- p.23 でなぜ海賊が "Oh no!" と言ったのでしょうか。
答え: p.24 ウィルフが小さな帽子を持ち帰ってしまったからです。
 - どんなふうに魔法がかかっていきましたか。p6-7 を The Magic Key と比較してみましょう。

3. The Dragon Tree 「ドラゴンツリー」 (294 語)

キッパーが絵本を読んでいると、今度はマジックキーがみんなをドラゴンの所に連れていってしまいます。

	3. The Dragon Tree	ドラゴンツリー
1	Kipper was looking at a book. The book was about a dragon. Kipper couldn't read the story.	キッパーは本を見えています。 本はドラゴンについてのものです。 キッパーはその物語が読めません。
2	Biff didn't want to read it. She didn't like dragons.	ビフは読みたくありません。 ドラゴンがきれいなのです。
3	Kipper went into Chip's room. Chip read the story. "I like dragons," said Chip.	キッパーはチップの部屋に行きました。 チップは本を読んでくれました。 「ドラゴン好きだな」チップが言いました。
4	Something was glowing. It was the magic key. "Oh no!" said Chip.	何かが光っています。 マジックキーです。 「これはダメだ」チップが言いました。
5	Chip picked up the box. He ran into Biff's room. "The magic is working," he said.	チップは箱を持ちました。 ビフの部屋へと走ります。 「魔法がかかっている」チップは言いました。
6	Chip picked up the key. They looked at the magic house. "The door is open," said Biff.	チップがかぎを取りました。 子どもたちはマジックハウスを見ました。 「ドアが開いている」ビフが言いました。

7	The magic was working. It took the children inside. It took Floppy too.	魔法がかかりました。 魔法で子どもたちは中に入っていきます。 フロッピーもです。
8	It took them to a wood.	子どもたちは森につきました。
9	Floppy didn't like the wood. He was frightened.	フロッピーは森が好きではありませんでした。 彼はこわがっています。
10	Biff pulled Floppy. "Come on," she said. "Don't be silly."	ビフがフロッピーを引っぺします。 「さあ、おいで」ビフは言いました。 「ばかなことはしないで」。
11	An owl flew out of a tree. Floppy didn't like the owl. He ran away.	ふくろうが木から飛びだしてきました。 フロッピーはふくろうも好きではありません。 フロッピーは逃げてしまいました。
12	Floppy ran out of the wood. "Come back," called Biff. "Come back," called Chip.	フロッピーは森から出ていってしまいました。 「戻っておいで」ビフが呼びました。 「戻ってこい」チップが呼びました。
13	It was no good. Floppy ran and ran. "Oh help!" said Biff.	あまりよいことではありません。 フロッピーはどんどん走っていきます。 「助けて！」ビフが言いました。
14	The children looked for Floppy. They called and called. "Floppy! Come back!" they called.	子どもたちはフロッピーを探しました。 何度も何度も呼びました。 「フロッピー！ 帰っておいで！」子どもたちは呼びました。
15	The children came to a tree. It was called "The Dragon Tree". A dragon lived under the tree.	子どもたちは木にたどりつきました。 「ドラゴンツリー」と呼ばれる木でした。 ドラゴンが木に住んでいます。

16	The dragon had Floppy. He wanted Floppy for supper. Floppy was frightened.	ドラゴンがフロッピーをつかまえていました。ドラゴンはフロッピーを夕食にしたかったのです。フロッピーはこわがっています。
17	“Oh no!” said Biff. “What a nasty dragon! I don’t like dragons.”	「なんていうこと！」ビフが言いました。「いやなドラゴンだわ！ドラゴンはきらいよ！」
18	Biff looked at the dragon’s tail. She took off her belt.	ビフはドラゴンのしっぽを見ました。自分のベルトをはずしました。
19	She put it round the tail. Chip helped her.	ビフはベルトをしっぽにぐるりと巻きました。チップが手伝いました。
20	Kipper went inside the tree. He pulled Floppy out. Chip helped him.	キッパーが木の中に入りました。キッパーはフロッピーをひっぱりだします。チップがキッパーを助けます。
21	The dragon was cooking. It didn’t see them.	ドラゴンは料理中でした。ドラゴンは子どもたちを見ませんでした。
22	“Come on!” called Chip. They ran and ran. The key was glowing.	「さあ行こう！」チップが言いました。子どもたちは走って、走りました。かぎが光っていました。
23	“The key is glowing,” called Biff. “It’s time to go home.”	「かぎが光っているわ」ビフが言いました。「もう家に帰る時間だわ」。
24	“What an adventure!” said Chip. “I don’t like the dragons,” said Biff.	「なんていう冒険なんだ」チップが言いました。「ドラゴンは好きじゃないわ」ビフが言いました。

語句の解説

p.2 dragon (s) 竜・ドラゴン(翼と爪を持ち、口から火を吐く想像上の動物)

p.7 took (take の過去形) 連れていった

p.8 a wood 森・林(単数形で)→the woods とも言います。forest よりやや小さめです。

p.11 out of～ ～から p.15 under の下 p.16 supper 夕食

p.17 nasty すごくいやな・怒りっぽい・意地悪い p.18 tail しっぽ

読むポイント

“It took the children inside.” (p.7) It took Floppy too. (p.7) It took them to a wood. (p.8) のように take には「連れていく・持って行く」という意味があります。take には食事をする、受け入れる、取る、経験するなど書ききれないほどの意味があります。便利な単語なので、文章をそのまま暗記してしまいましょう。言いたいことに合わせて単語をかえていくと使いやすいでしょう。

発音で気をつけてほしいのは、長母音“ee”“ea”です。これは母音が重なっているので、前の母音をアルファベット読み、つまり、「イー」と発音します。read, tree, see などそうです。

ダイアローグ

物語を読む時には、登場人物が誰であるかを把握するのが重要です。そのために誰がどうしているのかとらえるように、普段から心がけましょう。

1. 色鉛筆を6本用意します。誰か(何か)が登場するたびに、色をかえて○で囲みます。それぞれの人物が最初に登場した所に、色鉛筆で○とマークします。
p.1 Kipper p.2 Biff p.3 Chip p.7 Floppy p.14 the children , a dragon
2. 今度は引用符“ ”の所が誰(何)のセリフかを判断します。1.でマークした色で、その引用符の中のセリフに線を引いていきます。
3. 子どもたちにひとりずつ誰かになってもらいます。
4. 子どもたちを半分ずつの人数にわけます。一つのグループには、CDをかけながら、自分の決めた人のセリフの所が流れているときだけ、立ち上がってもらいます。もうひとつのグループは、相手グループの立ち上がった様子を見て、誰が誰を選んだのか当てます。
5. 終わったら今度は役を変えて行いましょう。

4. Gran 「おばあちゃん」 (309 語)

おばあちゃんが飛び跳ねていますね。何やらただものではなさそうです。

	4. Gran	おばあちゃん
1	A car came to the house. The children ran to see. “It’s Gran,” said Kipper.	車が家に来ました。 子どもたちが見に行きました。 「おばあちゃんだ」キッパーが言いました。
2	“Come in,” said Mum. “Come in,” said Dad.	「いらっしやい」ママが言いました。 「いらっしやい」パパも言いました。
3	The children helped. They took Gran’s things. “What a lot of things!” said Kipper.	子どもたちはお手伝いをします。 おばあちゃんの物を運びます。 「なんてたくさんものがあるのだろう！」 キッパーが言いました。
4	The children liked Gran and Gran liked the children.	子どもたちはおばあちゃんが好きで、おば あちゃんは子どもたちを好きです。
5	“Come and see my toys,” said Kipper. “Come and see my room,” said Biff. “Come and play,” said Chip.	「ボクのおもちゃを見にきてよ」キッパーが 言いました。 「私の部屋を見にきてよ」ビフが言いま した。「遊びにきてね」チップが言いました。
6	Gran played with the children. They played inside. “Oh no!” said Mum.	おばあちゃんは子どもたちと遊んでいま す。みんなは中で遊びました。 「まあ！」ママが言いました。
7	They went outside and played football. “Oh no!” said Dad.	みんなは外に出てサッカーをしました。「こ れはダメだ！」パパが言いました。

8	Gran took the children out. They went in Gran's old car. Wilf and Wilma went too.	おばあちゃんは子どもたちを外に連れていきます。子どもたちはおばあちゃんの古い車に乗り込みました。ウィルフとウィルマも行きました。
9	"What an old car!" said Wilf. "It's a good car," said Gran.	「なんて古い車なんだろう！」ウィルフが言いました。「いい車よ」おばあちゃんは言いました。
10	Gran took them to the fun park. "This looks fun," said Gran. "Come on, everyone."	おばあちゃんは遊具つき公園に連れていきました。「おもしろそうね」おばあちゃんと言います。「みんなおいでよ」
11	The children began to run. They wanted to go on everything. "Come on, Gran," they called	子どもたちはかけだしました。 すべての乗り物に乗りたがりました。 「さあいこうよ、おばあちゃん」子どもたちは言いました。
12	"Look at this," said Kipper. "It's a castle. It's called Jumping Castle."	「これを見て」キッパーが言いました。 「お城だよ。ジャンピング・キャッスルと言うんだ」
13	The children went on the jumping castle. "This is fun," called Wilma.	子どもたちはジャンピング・キャッスルに乗りました。 「これはおもしろい」ウィルマが言いました。
14	The children jumped and jumped, and bounced and bounced. "Come on, Gran," they called	子どもたちは跳んで、跳んで、はねて、はねまくりました。 「おばあちゃん、来てよ」みんなが呼びました。
15	Gran went on the castle. She jumped and bounced.	おばあちゃんがお城に来ました。とんではねてみました。

	“Good old Gran,” called the children.	「おばあちゃん、やる！」子どもたちが言いました。
16	Gran made a hole in the castle. “Oh no!” said the children. The castle began to go down.	おばあちゃんはお城に穴をあけてしまいました。「やっちゃった！」子どもたちは言いました。お城は沈みはじめました。
18	A man ran up. He was cross with Gran. “Look at my castle,” he yelled.	おじさんがやってきました。 おばあちゃんにかんかんです。 「私のお城を見なさい」おじさんが叫びました。
19	“Go home,” yelled the man, “and don’t come back.” Gran took the children home.	「家に帰れ」おじさんが叫びました。 「二度と来るんじゃない」 おばあちゃんは子どもたちを家に連れ帰りました。
20	Biff told Mum about the castle. Mum was cross with Gran. Gran was sad.	ビフがママにお城の話をしました。 ママはおばあちゃんに怒っています。 おばあちゃんは悲しんでいます。
21	Gran was in Chip’s room. She looked at the magic key. The key was glowing.	おばあちゃんはチップの部屋に来ました。 マジックキーをながめます。 鍵が光っていました。
22	Gran picked up the key and ran into Biff’s room. “Look at this,” she said.	おばあちゃんは鍵を取り、ビフの部屋に入ってきました。 「これを見て」おばあちゃんは言いました。
23	“Oh no!” said Kipper. “It’s the magic. The magic is working.”	「あれ？」キッパーが言いました。 「魔法だ、魔法がかかっている」。
24	The magic took them to a new adventure.	魔法はみんなを新たな旅に連れていきます。

語句の解説

p.3 thing (s) 物 a lot of たくさんの

p.7 football (英)サッカー (米)アメリカンフットボール p.10 fun 楽しい・おもしろい

p.11 everything すべてのもの p.12 castle 城 p.14 bounce (d) 跳びはねる・反射する

p.16 hole 穴 p.18 cross (英) 人を怒らせる・横断する yell(ed) どなる・叫ぶ

イギリス英語・アメリカ英語

ORT の CD にはイギリス英語とアメリカ英語が録音されています。イントネーションやリズムがそれぞれ違いますが、この絵本に何度も出てくる *castle* の言い方にも違いがはっきりと表れています。CD を何度も聞いて、両方の言い方をマネしてみましょう。

Copy the notices

Gran にはたくさん標示が出てきています。それらは大文字で目立つようになっています。ひとつだけ書き加えられているものがありますね。

1. 標示を探します。
2. 標示をみつけたら、ノートに書きうつします。
3. いくつ見つかるでしょうか。

p.2-3 WITH CARE p.10 NO PARKING p.12 CHILDREN ONLY

p.19 CHILDREN ONLY NO GRANS!

なんとおばあちゃんの編み棒で穴をあけてしまったら、立て看板が書きかえられてしまいました。

Find the reasons

マジックキーが魔力をしめす大人は、おばあちゃんだけです。その理由を考えていきます。Gran の中で、おばあちゃんは何度も“Oh no!”と言われています。

1. CD を聞きながら“Oh no!”という会話にしるしをつけます。
2. それらは誰が言われているのでしょうか。会話はたいていその前の文章に呼応して発せられています。“Oh no!”の直前の文章を見ていきます。

p.6 Gran played with the children. They played inside. “Oh no!” said Mum.

(おばあちゃんが子どもたちと一緒に家の中で遊んでいます。絵を見ると、おばあちゃんのせいで花瓶が倒れてきています。)

p.7 They went outside and played football. “Oh no!” said Dad. (そこで戸外に出てサッカーをしたら、今度はおばあちゃんが蹴ったボールが窓に命中して、ガラスが割れてしまいます。)

p.16 Gran made a hole in the castle. “Oh no!” (おばあちゃんはお城で飛び跳ねていたら、穴をあけてしまいました。)

以上から、おばあちゃんが“Oh no!”と連発されていることがつかめます。

3. では、おばあちゃんと一般的な大人のちがいは何でしょうか。大人というと理性ある行動をするイメージがあります。ところが、このおばあちゃんは子どものような心の持ち主。大人から怒られっぱなしです。この辺がマジックキーを使えるかどうかの重要なポイントになっているようです。
4. おばあちゃんがマジックキーを使える理由を書いてみましょう。
 - 子どものような心を持っているから。
 - いたずらをしてしまうからなど様々な理由が考えられるでしょう。

5. Castle Adventure 「お城の冒険」 (306 語)

おばあちゃんが、マジックキーではじめて冒険に出かけたのはお城でした。お城には3人の意地悪魔女たちが、待ちかまえていました。

	5. Castle Adventure	お城の冒険
1	The magic took them to a castle.	魔法でみんなはお城につきました。
2	Three witches lived in the castle. They were nasty witches.	3人の魔女がお城に住んでいました。 意地悪魔女たちでした。
3	One was a black witch. One was a red witch. One was a green witch.	ひとりには黒い魔女。 ひとりには赤い魔女。 もうひとりにはみどりの魔女でした。
4	The magic took the children inside the castle. It took them to a room.	魔法で子どもたちはお城の中に入りました。 みんなはある部屋につきました。
5	A frog was in the room. "I am a king," said the frog. "I am the king of this castle."	カエルが部屋にいました。 「私が王様なのです」カエルが言いました。 「私がこの城の王様なのだ。」
6	"The witches turned me into a frog. Help me," he said.	「魔女が私をかえるにしまったのです。助けてください」カエルは言いました。
7	A witch was coming. It was the black witch. "Look out!" said the frog.	魔女がきます。 黒い魔女です。 「気をつけて」カエルが言いました。

8	The witch opened the door. Gran pushed the witch. Chip took the witch's keys.	魔女がドアを開けました。 おばあちゃんは魔女を押しおします。 チップが魔女の鍵を取りあげます。
9	They ran out of the room. Chip locked the door. The witch couldn't get out.	みんなは部屋から出てきました。 チップがドアをロックします。 魔女は外に出られません。
10	Everyone ran. "Look out!" called Chip.	みんなが走ります。 「気をつけて！」チップが叫びました。
11	A witch was coming. It was the red witch.	魔女が近づいてきました。 赤い魔女です。
12	"I don't like witches," said Gran. She put a net over the witch.	「魔女は好きじゃないのよ」おばあちゃんは 言いました。 おばあちゃんは魔女にネットをかけました。
13	The witch couldn't get out. "Good old Gran," called Biff.	魔女は出られません。 「おばあちゃん、すごい」ビフが言いました。
14	Gran went to the green witch. "I don't like witches," said Gran. "I don't like nasty witches."	おばあちゃんは緑の魔女の所に行きました。 「私は魔女が好きじゃないのよ」おばあ ちゃんは言いました。 「私はいじわるな魔女が好きじゃないの」。
15	Gran threw the witch on the floor. "Help!" yelled the witch. "Good old Gran," said the children.	おばあちゃんは魔女を床になげました。 「助けて！」魔女が叫びました。 「さすがおばあちゃん」子どもたちが言いま した。
16	Some frogs came in and jumped on the table. One was the king.	カエルが何匹か入ってきて、テーブルの上 ではねました。 一匹は王様でした。

17	“Help us,” he said. Biff and Gran looked in the witches’ book.	「わたしたちを助けてください」王様は言いました。ビフとおばあちゃんは魔女の本を見えています。
18	The frogs turned into people. “Thanks!” said the king.	王様が人間に変わりました。「ありがとう！」王様が言いました。
19	The witches turned into frogs. Gran put the book on the fire. “Oh no!” said the witches.	魔女たちはカエルに変わりました。おばあちゃんが本を火に入れます。「だめ！」魔女が言いました。
20	The king had a party. Everyone went to it. “What a good party!” said Chip.	王様はパーティーを開きました。みんな参加しました。「なんてステキなパーティーなんだろう！」チップが言いました。
21	“What an adventure!” said Biff. “I like adventures,” said Gran. “Good old Gran!” said everyone.	「なんていう冒険なのでしょう！」ビフが言いました。「私も冒険がすきよ」おばあちゃんが言いました。「おばあちゃんすてき！」
22	The magic key was glowing. “It’s time to go,” said Biff. “Goodbye,” said the king.	マジックキーが光っています。「行く時間だわ」ビフが言いました。「さようなら」王様が言いました。
23	The magic took them back to Biff’s room.	魔法でビフの部屋に戻りました。
24	They fell on to Biff’s bed. “Oh no!” said Mum.	みんなはビフのベッドに落ちてきました。「あら、まあ！」ママは言いました。

語句の解説

p.2 witch (es) 魔女 p.6 turn (ed) A into B AをBに変える p.7 look out 気をつける
p.9 ran out of (run out of の過去形) ~からかけて出る p.9 get out 出ていく・逃げる
p.14 nasty 意地の悪い・ひどい p.15 yell (ed) 叫ぶ・どなる p.18 spell 魔法
p.24 fell on to (fall on to の過去形) に倒れる

魔女

魔女というと黒いとんがり帽子をかぶり、黒い服を着ている存在です。ここでは3人の魔女が出てきます。それぞれがどのように退治されていきますか。黒い魔女、赤い魔女、緑の魔女について、どうなったのでしょうか。

語ってみよう

ステージ5になると、長さがあり読み応えのある絵本になってきました。そこで何度かCDをかけながら読んだら、そのストーリーを語れるかどうかを試してみましょう。

1. CDを聞きながら何度か本を読みます。お話の流れはわかってきましたか。
2. あらすじをつかみます。小学生の場合には、見開き2ページの中から1~2文大切だと思ふ所にマークを入れてもらいます。本の最初から最後までこの要領で行います。最後にマークした部分をつなげて言っていくとまとめ方がわかってきます。
3. 2. でまとめたものを言えるように練習します。ペアを組んでお互いにあらすじを相手に伝えます。聞いていた方は、印象をコメントするようにしましょう。
4. 自信がついたら、今度は全体の前で発表してみましょう。

6. Village in the Snow 「村は雪げしき」 (329 語)

6. Village in the Snow

- 1 The children were at school.
It was playtime.
“Come in,” called Mrs May.
- 2 Mrs May told the children a story. The story was about a village. The village was in the mountains.
- 3 Everyone liked the story. It was called *The Village in the Snow*.
- 4 The children went to Biff’s room. They wanted an adventure
- 5 Biff picked up the magic key. The key began to glow.
“The magic is working,” said Biff.
- 6 The magic took the children to the village in the snow.
“It’s lovely,” said Biff.
- 7 Kipper jumped in the snow.
“I like the snow,” he called.
“This is fun.”

村は雪げしき

- 子どもたちは学校にいます。
休み時間です。
「中に入りましょう」メイ先生が言いました。
メイ先生が子どもたちにお話をしてくれています。お話は村についてです。
その村は山々に囲まれていました。
- みんなその話を気に入りました。その話は、「村は雪景色」というものです。
子どもたちはビフの部屋に行きました。
子どもたちは冒険をしたいのです。
ビフがマジックキーを取り出しました。
かぎが光りはじめました。
「魔法が働いているわ」ビフが言いました。
魔法で子どもたちは雪の村にきました。
- 「すてきね」ビフが言いました。
キッパーは雪にとびこみます。
「僕、雪がすきなんだ」キッパーが大声で言いました。「たのしいね」。

8	They played in the snow. They made a snowman and put Kipper's hat on top.	みんなは雪遊びをしました。雪だるまを作 って、てっぺんにキッパーの帽子をのせま した。
9	They jumped in the snow. They threw snowballs. "Look," said Wilma.	みんなは雪の上を飛びはねました。 雪のボールを投げました。 「見て」ウィルマが言いました。
10	They saw a little boy. The boy was pulling a toboggan. Some big boys ran up.	みんなは小さい男の子をみかけました。 男の子はそりをひっぱっていました。 大きな男の子たちがかけよってきました。
11	They pushed the little boy over. They pushed the toboggan over and they ran away.	その子たちは小さい男の子を倒しました。 そりも倒して逃げてしまいました。
12	The children ran up. They helped the little boy. Kipper picked up his hat.	子どもたちがかけよりました。 小さな男の子を助けました。 キッパーは帽子を拾ってあげました。
13	The little boy told them about the big boys. Kipper was cross.	小さな男の子は大きな男の子たちについて 話しました。 キッパーは怒りました。
14	Kipper put on the little boy's hat. He put on his coat. "Come on," he called.	キッパーは小さな男の子の帽子をかぶりま した。コートも着ました。 「さあこい」キッパーは大声で言いました。
15	The big boys looked at Kipper. Kipper looked like the little boy. "Come on," said the big boys.	大きな男の子たちはキッパーを見ていまし た。キッパーは小さな男の子のように見え ました。「さあ、行こう」大きな男の子たちは 言いました。

16	The children threw snowballs at the big boys. “Help! Help!” yelled the big boys.	子どもたちは大きな男の子たちがめて雪玉を投げつけました。 「助けて！助けて！」と大きな男の子たちが言いました。
17	The big boys ran away. The little boy jumped and jumped in the snow.	大きな男の子たちは逃げました。 小さな男の子は雪の中をぴよんぴよん跳びました。
18	The children put the little boy on the toboggan. They pulled him home.	子どもたちは小さな男の子をそりにのせました。 その子をひっぱって帰りました。
19	The little boy lived with his grandfather.	小さな男の子はおじいさんと住んでいました。
20	Grandfather gave the children a drink. The children told Grandfather about the big boys.	おじいさんは子どもたちに飲み物を出しました。子どもたちはおじいさんに大きな男の子たちの話をしました。
21	They told Grandfather about the snowball fight.	おじいさんに雪玉のなげあいについても話しました。
22	The children played in the snow. They went on the toboggan. “This is fun,” said Wilf.	子どもたちは雪遊びをしました。 そりに乗ってみました。 「これはおもしろい」ウィルフが言いました。
23	The magic key began to glow. “It’s time to go,” said Biff. “Come on,” she said.	マジックキーが光り始めました。 「もう行かなくちゃ」ビフが言いました。 「さあ行こう」と言いました。
24	The magic took the children home. “What an adventure!” said Chip.	魔法で子どもたちは家に戻りました。 「なんていう冒険なんだ」チップが言いました。

語句の解説

表紙 village 村 p.1 at school 学校に

playtime (英) 休み時間 アメリカだと recess という。

p.2 mountains 山・山脈 p.6 lovely すてきな・かわいらしい p.8 snowman 雪だるま

p.9 threw (throw の過去形) 投げる

p.10 toboggan 雪や氷の坂をすべり下りる先端を曲げた木製のそ

p.11 ran away (run away の過去形) 逃げる p.13 cross 怒った p.14 put on 着る

p.19 grandfather おじいさん p.23 It's time to ~の時間

Q and A

お話を読んで質問をしてみましょう。

1. 6枚のカードを人数分だけ用意します。それぞれに when, where, who, what, which, how と書き込みます。
2. 2~4名でグループになります。全員にカードを配ります。
3. ひとりずつばば抜きで、カードを順々に取り、同じものが2枚揃ったら出していきます。2枚同じものを引いたら、その場でみんなにその単語を使って質問します。質問ができたときだけ、そろった2枚のカードを捨てられます。質問を作ったら、残りの人は答えます。早く手持ちのカードがなくなった人の勝ちです。

たとえば **Where** のカードを引いた場合には、Where are the children? 「子どもたちはどこ?」というように作ります。

本文著者 宮下いづみ

Eunice English Tutorial 主宰

SEG 英語多読コース講師

東京音楽大学附属高校非常勤講師